

# 淡路支部総会へ お越しく下さい

5月30日(土)15時～ 洲本市健康福祉館3階会議室



2009.3.25  
No. 247

兵庫県保険医協会  
淡路支部  
会 淡路洲本市物部三三三-44  
〒659-0101 洲本市物部三三三-44  
電話 079-912-0071



支部長 高田裕

支部設立三十周年・第三十一回淡路支部総会が、五月三十日(土)に洲本市健康福祉会館で開催されます。記念講演では、神戸朝日病院院長の金守良先生に「肝炎」についてお話していただく予定です。職員さんもお誘いあわせてご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

※詳細は後日ご案内します

## Let's...

一般に三月というのは多忙。年度末、卒業、諸学会その他。今年は加えてオバマ政権の誕生と世界の基軸通貨ドルの乱調というアメリカ発の政財界の嵐(嵐と言つていいでしょう)が瞬時に世界を席卷。さらに北朝鮮の挑発?と連日ニュースから目が離せない日が続いている。

一方、私にとっての三月は恒例三月九日の旧制中学の七十一年度のクラス会(三十九回卒業に因んで毎年三月九日が定例)。二百四十六名中、生存五十五名、当日出席十名、クラス会が増えることはないんだから、寂しいと言えば寂しいが…。旧制中学のクラス会は異業種の人と、しかも一応のエリートだけに話は面白く得るところ大で、毎年期待している。

今年さらさら、洲本市医師会の准看学校の閉校式という行事も。かつては全島の准看護師の補給源であったが、昨年の入学者は八名、五十年の幕を閉じるに至った。始めがあれば終わりがあつた。他ではあまり聞かれない「仰げば尊し」を聞き、全員で歌った「螢の光」はさすがにひとしおの感慨があつた。

マスコミ紙面にもう一つ、ほとんど連日掲載されているのが麻生政権の運命。と同時に、小泉元総理の功罪論である。ただ、それは郵政からかんぼの宿問題がほとんどで、医療の分野は全くノータッチである。その理由はわからないうが…。後期高齢者の医療や介護の劣悪さは云々されながら、あまり議論されないのは? この制度により未受診の老人が多いことに目を向けさせる方に気力も手遅れにならない間に…。

【松本記】

二月十二日に開催した淡路支部医院経営勉強会  
「患者満足度を向上させるために、職員を大切にす  
る医療機関の強み」の参加者感想文を紹介する。

感想文

# 感謝の輪を院内に

洲本市 三木 隆彦

日ごろ従業員の就業規則、給料、教育、従業員同士の軋轢などの問題について色々困っていることがあり、医院経営勉強会に参加しました。患者さ

んの満足度を向上させるためには、まず従業員の満足が必要だということがよくわかる勉強会でした。

雇用者が考える好条件と、従業員が考える好条件が違うということ。従業員対策には社会保険労務士の助言が必要。まず何より雇用契約書が必要。医院の理念を作り、それに基づいた行動指針を作ることが重要。マクドナルドの例を挙げ、行動指針に基づいた日常業務マニュアルを細かく決めることが重要。ということを理解することができました。また、従業員からの徹底

したヒアリングと、その際の批判と提案の区別。従業員間のいじめの例を挙げ、従業員に対する平等性の重要性。抽出された問題点に対する改善計画の立案とその実行方法(担当者と期限を決めることなど)を、例をあげ細かく講演いただきました。

最後に、従業員が患者さんに来ていただいてありがとう、院長が従業員に働いていただいてありがとうと、感謝するような環境になることが大切ということでした。

以上のような内容で、翌日からすぐ実行できるもので大変役に立つ勉強会でした。「職員を大切にす医療機関の強み」の意味がよくわかる講演でした。

## 淡路支部ニュース250号記念号にご投稿を

「淡路支部ニュース」が、まもなく第250号を迎えます。記念号での支部の先生方の投稿を募集しますので、ぜひご寄稿ください。テーマは自由です。

(記念号詳細は次号で)

投稿先 FAX 078 - 393 - 1802

メール kusunoki@doc-net.or.jp 事務局 楠まで



兵庫県保険医協会淡路支部企画のご案内

# 職員接遇研修会

日時 5月16日(土) 15時~17時

会場 サンライズ淡路 コミュニティセンター

(南あわじ市広田広田1466-1 / 0799-45-1411)

講師 大阪国際大学短期大学部教授 油谷 純子先生

参加費 1000円 定員 80人

※駐車場がございますが、できるだけお乗りあわせてご来場ください。

医療機関においては、患者さんが安心して頼ることのできる、サービスマインドを持った職員とのコミュニケーションが、特に求められています。患者さんとの接遇やサービスの質の向上が、医療への信頼と医院のイメージを一層高めることにつながります。

今回は講師に油谷純子先生をお招きし、限られた条件の中で今すぐ手軽に実行できる対応・サービスのノウハウと患者心理をふまえた接遇のポイントを実技も交えてお話していただきます。新人職員の方はもちろん、中堅職員の方にもご参加いただきますようご案内いたします。

お問合せは、TEL 078-393-1807 協会事務局 楠(クノキ)、段林まで

【FAX送信】078 — 393 — 1802 事務局 楠行

5/16(土)淡路支部職員接遇研修会参加申込用紙

医療機関名 \_\_\_\_\_ / 地区：洲本市、南あわじ市、淡路市

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_ / 経験年数 \_\_\_\_\_ 年

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_ / 経験年数 \_\_\_\_\_ 年

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_ / 経験年数 \_\_\_\_\_ 年

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_ / 経験年数 \_\_\_\_\_ 年

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_ / 経験年数 \_\_\_\_\_ 年

連絡先 TEL \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ 担当( \_\_\_\_\_ )様

兵庫県保険医協会淡路支部 会員懇談会

# レセプトオンライン請求義務化への対応

～留意点とレセコン、電子カルテの選び方～

日 時 4月11日(土)15時～  
会 場 洲本市文化体育館2階会議室C-3  
話題提供 西海 長平先生(淡路市開業)  
講 師 石原 正規氏(メディキャスト(株)メディプラザ大阪)  
参加費 無料

2011年のレセプトオンライン請求の義務化が目前に迫っています。電子カルテやレセコンを開発しているメーカー各社は、その対応に追われています。レセプトオンライン請求の義務化をIT化の契機と考え、電子カルテの導入を検討する医療機関が増えてきています。しかし、いざ導入を検討すると、電子カルテは40社を超えるメーカーがあり、その特徴もかかる費用もさまざまです。

このたび講師にお招きする、医療IT製品常設総合展示場、メディプラザ大阪の石原氏は、電子カルテやレセコン、画像ファイリングシステム、予約システムなど診療所のIT化のエキスパートです。電子カルテはどのようなものか、今から導入してメリットがあるのか、レセプトオンラインは進むのか、などといった疑問についてお話しいただきます。

また、今年からオンラインでのレセプト請求を始められた西海長平先生に、オンライン化までの準備や苦労などの体験をお話しいただきます。是非ご参加いただきますよう、ご案内致します。

お問い合わせは、Tel 078-393-1807 事務局 楠(クノキ)、段林 まで

申込書 Fax078-393-1802 楠 宛

4/11(土)協会淡路支部会員懇談会「レセプトオンライン請求義務化への対応」に

( ) 参加する ( ) 都合がつけば

お名前 \_\_\_\_\_ 医療機関 \_\_\_\_\_

お電話 ( ) \_\_\_\_\_ 人数 \_\_\_\_\_